

# 七高SSH通信

～七尾高校理数科だより～

H25・6・28  
石川県立七尾高等学校  
SSH推進室  
平成25年度 第2号

## ◆ 物理チャレンジに挑戦！ ◆

七尾高校理数科では、様々な科学コンテストに参加する機会を設けています。県内外を問わず高校生を対象とした科学のコンテストはたくさん実施されていますが、6月23日には、本校で物理チャレンジ一次予選が実施され、理数科物理選択者生徒39名が挑戦しました。

1次チャレンジは実験レポートと筆記試験が課され、実験課題は身近な素材を使って温度計をつくるというものでした。生徒達はいろいろ工夫しながら面白い温度計を作っていました。この実験レポートと理論課題を優秀な成績でクリアした生徒が、8月に茨城県つくば市で行われる2次チャレンジに参加することができます。

こういった科学コンテストは今後も予定されています。理数科だけでなく普通科の生徒も参加・受験できます。興味のある人は是非自分の力を試してみてください。



温度計を作る実験



## 今後の大会予定

- |                |  |
|----------------|--|
| ●生物学オリンピック     | 7月14日(日)本校 27名参加予定                                       |
| ●化学グランプリ       | 7月15日(月祝)金沢大学 81名参加予定                                    |
| ●いしかわ高校科学グランプリ | 8月17日(土)、18日(日)石川県地場産業センター<br>1,2年理数科各2チーム 2年普通科理系1チーム参加 |
| ●SSH 生徒研究発表会   | 8月6日(火)～8日(木) パシフィコ横浜                                    |
| ●数学オリンピック      | 平成26年1月13日 (月祝)本校 <b>参加者募集中</b>                          |

## 過去の成績

- H24年度 いしかわ高校科学グランプリ県内2位、シンガポール国際数学チャレンジ2位  
H23年度 化学グランプリ 銀賞1、銅賞1  
H19年度 化学グランプリ 大賞(最優秀賞)1、物理チャレンジ銅賞1





行ってきました！

5月31日（金）、北陸大学薬学部キャンパスにおいて、高文連文化祭行事として「高校生のための春の実験・実習セミナー」が行われました。本校からSSC（スーパーサイエンスクラブ）に所属している生徒50名が実験や実習に参加してきました。

高文連主催の春の実験セミナーは毎年実施されていますが、今回は北陸大学ということで、薬学をテーマに行われました。漢方から特定の成分を取り出す実験や薬の調剤実習、北陸大学の標本室や薬草園の見学など、普段できないような貴重な体験をさせていただきました。参加した生徒からは、『北陸大学の標本室や実験棟、薬草園に至るまでの施設の充実ぶりに感動した』、『数万種類の薬の調合の仕方を知っている教授がすごいと思った』、『薬学にはそれほど興味がなかったが今日の体験で薬学に非常に興味がわいた』、などといった感想が寄せられ、学校では一部でしか触れることのない薬学という分野に非常に興味関心を持った様子が見られました。



北陸大学キャンパス



生薬の成分を調べる実験



調剤体験：粉薬や軟膏を作りました



大学の食堂でランチ！  
一般開放されていて自由な雰囲気でした。



大学施設内や薬草園、生薬標本室の見学



## みんなの感想

北陸大学の薬学部では、とても広い敷地を活かして薬剤の研究ができるようになっていて、科学実験をしたり、模擬病棟で実際に職業体験をしたりでき、こんなすごい大学は他にはないと思いました。さらに、中国との交流も盛んで、国際的にも活躍しているすごい大学だと思いました。僕は将来薬剤師になりたいので、頑張って勉強して、北陸大学に入学し、世界で活躍できる薬剤師になりたいです。

私はこのセミナーを通じてたくさんのことを学びました。特に午後からの調剤体験では薬剤師という仕事の責任を強く感じました。まず、人間の命に関わる薬剤師という仕事は正確さが重要で責任の大きな仕事だということです。ミスを防ぐために様々な工夫をこらし、何回も確認をしながら作業し、その上素早く患者さんに提供できるように工夫もあることを学びました。また、薬剤師の仕事は調剤だけでなく、チーム医療の一員として働くことでさらに多くの知識が必要となっていることを学びました。様々な薬草や生薬の標本を見てこんな身近にあるもの、また、見たこともないような生物も薬の材料になるということに驚きました。私はこのセミナーを体験して、様々な材料をどのようにして薬にするのか、どのような理由で製薬の材料を決めているのか興味を持ちました。

このセミナーを体験できたことがとてもうれしく、また薬学の勉強をしたいと思いました。

